

平成27年度学校学校関係者評価 2学期

中津市立三郷小学校

学校の教育目標	豊かな心と確かな学力を身につけ、たくましく生きる山国の子どもの育成
重点目標	○基礎基本の確実な定着と活用力の育成
	○あいさつができる子の育成
	○進んで体を動かす子の育成

評定判断基準	
A	達成率90～100%
B	達成率70～89%
C	達成率60～69%
D	達成率60%未満

重点目標	達成指標	達成指標	重点的取組	取組指標	取組指標 評定	総合 評定	学校への意見及び要望
基礎基本の定着と活用力の育成	○学期ごとのまとめのテストで、昨年度末の1段階の割合を50%減少させる。 ○中津市学力状況調査で1段階の児童の割合を30%減少させる。	B	○「自分の考えを持つ場」「発表する場」のある児童主体のわかる授業を徹底する。 ○「課題」の質を高める。	○課題に対する自分の考えを持たせるため、最低5分間は静かに考える時間を設定する。 ○「課題」解決のための見通しや手だてを示して考えさせる。 ○隣接学年で見合い・相談。校長・教頭による授業観察による助言。	B	B	<ul style="list-style-type: none"> どの学級も、落ち着いて授業ができています。 読解力は本を読むことによって伸びると思う。 家庭学習については、できていない家庭にはしっかり働きかけしてよい。 1週間に1回本を読むことを強制したらどうか。
			○その日の授業に連動した家庭学習に取り組む。 ○活用する問題を解く。(週末の家庭学習や補充学習で)	○その日に学習したことと連動した家庭学習を出す。 ○週末の家庭学習や補充学習に活用する問題を出す。	A		
			○家庭学習の徹底。(各学年の課題に応じて) ○週末家庭読書の徹底	○家庭学習ががんばりカードや決意カード(高学年)で、学習開刻と学習時間を保護者の見えるところに掲示し、徹底を図る。	B		
あいさつができる子の育成	○自己評価アンケート(児童・保護者・教職員)で「三郷小の子が先に明るくあいさつをするようになってきた」と回答した割合を90%以上にする。	B	○「先に明るくあいさつができる」ことを目標にして運動に取り組む。(児童会・保護者と連携)	○児童会からのあいさつについての反省用紙を配り、反省をまとめる。 ○校外指導部以外の保護者が、9月から計画的に校門前に立って指導する。	B	B	<ul style="list-style-type: none"> 今回、下校時の立番をしているとき、子どもたちから「ありがとう」と言われて、とてもうれしかった。子どもの感謝の気持ちが伝わりました。 授業参観で回っていると、5年の子どもから「かかしの時は、ありがとうございました」と言われ、とても感じがよかった。 「ありがとう」運動に、PTAと共に取り組んではどうか。
			○あいさつがよくできた子をほめる。(「先に」「明るく」という視点で)	○毎週水曜日の給食時間や9月は運動会の全体練習の最後に良かった児童をほめる場を設定する。	B		
			○教室に入るとき、友だちにあいさつをし、あいさつを返す。	○引き続き、教室で声かけをする。 ○定期的に会議で進捗状況を出し合う。	B		
進んで体を動かす子の育成	○児童アンケートで「進んで体を動かすことが好き」と回答した割合を90%以上にする。 ○児童アンケートで「休み時間によく運動場や体育館で体を動かして遊んだ」と回答した割合を90%以上にする。 ○児童アンケートで「朝ごはんを毎日食べている」と回答した割合を90%以上にする。	B	○授業の始まりに学年の発達段階に応じたサーキットトレーニング・長縄跳びを行う。 ○全校で「跳び箱・マット週間」を設ける。	○運動会終了後にサーキット及び長縄の取り組み内容について再度共通理解を図る場を設定する。	B	B	<ul style="list-style-type: none"> 計画的に体力向上の取組が進められていることがよくわかった。 生活リズムについては、保護者に働きかけてをして、今後も粘り強く生活のリズムの向上に力を入れてほしい。
			○児童会の取組として始業前に全校児童が走る時間を設定し、低2周、中3周、高5周程度進んで走らせるようにする。	○2学期に各児童のめあてを決めさせて、朝ランニングについての意識を高める。	A		
			○自分の健康・生活リズムの徹底を図る。	○運動会練習に備えて、生活リズムの見直しを行う。特に朝ごはん・睡眠・熱中症予防については保健だよりや児童朝会で呼びかける。 ○毎月第2週の生活リズムチェック表に引き続き取り組む。	B		